

# 第91回 簿記実務検定第1級試験問題

原価計算

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

|        |        |        |          |
|--------|--------|--------|----------|
| 当座預金   | 売掛金    | 製品     | 第1工程半製品  |
| 副産物    | 仕損品    | 所得税預り金 | 健康保険料預り金 |
| 売上     | 売上原価   | 賃金     | 従業員賞与手当  |
| 健康保険料  | 製造     | A組製造   | B組製造     |
| 第1工程製造 | 第2工程製造 | 組間接費   | 材料消費価格差異 |
| 本社     | 工場     |        |          |

a. 本月分の賃金支払帳は次のとおりであった。よって、正味支払高を小切手を振り出して支払った。ただし、諸手当は賃金勘定に含めないで処理している。

### 賃金支払帳

| 番号 | 氏名 | 支払高       |         |           | 控除額     |        |         | 正味支払高     |
|----|----|-----------|---------|-----------|---------|--------|---------|-----------|
|    |    | 基本賃金      | 諸手当     | 合計        | 所得税     | 健康保険料  | 合計      |           |
|    |    | 1,498,000 | 299,000 | 1,797,000 | 147,000 | 64,000 | 211,000 | 1,586,000 |

b. 組別総合原価計算を採用している長野工業株式会社は、組間接費を各組の組直接費を基準として配賦率を求め、A組とB組に配賦した。なお、当月の製造費用は次のとおりである。

|     | A組直接費      | B組直接費      | 組間接費       |
|-----|------------|------------|------------|
| 材料費 | ¥3,350,000 | ¥1,650,000 | ¥570,000   |
| 労務費 | ¥4,176,000 | ¥2,024,000 | ¥980,000   |
| 経費  | ¥1,574,000 | ¥1,226,000 | ¥1,950,000 |

c. 宮崎工業株式会社は、会計期末にあたり、材料消費価格差異勘定の残高を売上原価勘定に振り替えた。なお、材料消費価格差異勘定の前月繰越高は¥13,000(借方)であり、当月の素材の実際消費高は予定消費高より¥4,000少なく、この額は材料消費価格差異勘定に振り替えられている。

d. 工程別総合原価計算を採用している鹿児島工業株式会社は、月末に工程別総合原価計算表を作成し、各工程の完成品原価を次のとおり計上した。ただし、各工程の完成品はすべていったん倉庫に保管しており、当月中に倉庫から第2工程(最終工程)に投入した第1工程の完成品原価は¥1,945,000である。なお、当社では第1工程の完成品原価をすべて第1工程半製品勘定に振り替えている。

第1工程 ¥2,670,000 第2工程 ¥3,180,000

e. 工場会計が独立している長崎製作所の本社は、工場から製品¥3,675,000(製造原価)を得意先熊本商店に引き渡したとの通知を受けたので、売上高(掛け)¥5,250,000および売上原価を計上した。ただし、売上勘定と売上原価勘定は本社に、製品に関する勘定は工場に設けてある。(本社の仕訳)

f. 単純総合原価計算を採用している岐阜製作所において、製品の完成とともに副産物が発生した。ただし、総合原価は¥2,684,000であり、そのうち副産物の評価額は¥249,000であった。

2

山梨製作所は、単純総合原価計算を採用し、A製品を製造している。下記の資料と製造勘定によって、

- (1) 単純総合原価計算表を完成しなさい。  
 (2) 製造勘定の特許権使用料（アの金額）を求めなさい。  
 ただし、i 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。  
 ii 月末仕掛品原価の計算は平均法による。

資 料

a. 生産データ

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 月初仕掛品 | 800個 (加工進捗度50%) |
| 当月投入  | 3,950個          |
| 合計    | 4,750個          |
| 月末仕掛品 | 750個 (加工進捗度40%) |
| 完成品   | 4,000個          |

b. 月初仕掛品原価

|     |            |
|-----|------------|
| 素材費 | ¥1,502,000 |
| 加工費 | ¥410,000   |

c. 当月製造費用

|     |            |
|-----|------------|
| 素材費 | ¥6,478,000 |
| 加工費 | ¥4,836,000 |

製 造

|                   |          |
|-------------------|----------|
| 前月繰越 ( )          | 製 品 ( )  |
| 素 材 ( )           | 次月繰越 ( ) |
| 工場消耗品 684,000     |          |
| 賃 金 2,204,000     |          |
| 従業員賞与手当 1,136,000 |          |
| 健康保険料 260,000     |          |
| 特許権使用料 (ア)        |          |
| 減価償却費 213,000     |          |
| 電 力 料 97,000      |          |
| 雑 費 56,000        |          |
| ( )               | ( )      |

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 佐賀製作所の下記の勘定記録と資料により、次の金額を求めなさい。ただし、会計期間は原価計算期間と一致しているものとする。なお、製造間接費配賦差異は売上原価に振り替える。

a. 材料の実際消費高

b. 間接労務費の実際発生額

c. 売上原価

| 製 造           |                | 製 造 間 接 費      |               |
|---------------|----------------|----------------|---------------|
| 前期繰越 385,000  | 製 品 10,788,000 | 素 材 246,000    | 製 造 ( )       |
| 素 材 ( )       | 次期繰越 ( )       | 工場消耗品 ( )      | 製造間接費配賦差異 ( ) |
| 賃 金 3,690,000 |                | 賃 金 ( )        |               |
| 外注加工賃 361,000 |                | 給 料 1,340,000  |               |
| 製造間接費 ( )     |                | 退職給付費用 412,000 |               |
| ( )           |                | 健康保険料 148,000  |               |
|               |                | 水道料 ( )        |               |
|               |                | 減価償却費 185,000  |               |
|               |                | ( )            | ( )           |

資 料

- ① 素 材 期首棚卸高 ¥ 700,000 当期仕入高 ¥3,800,000 期末棚卸高 ¥ 675,000  
 ② 工場消耗品 期首棚卸高 ¥ 32,000 当期仕入高 ¥ 276,000 期末棚卸高 ¥ 36,000  
 ③ 賃 金 実際平均賃率 作業時間/時間につき ¥900  
 直接作業時間4,100時間 間接作業時間400時間  
 ④ 水道料 基本料金 ¥ 12,000  
 当期使用量 1,900m<sup>3</sup> 単価/m<sup>3</sup>あたり ¥120  
 水道料の計算方法は、基本料金に当期使用料を加算して求める。  
 ⑤ 仕 掛 品 期首棚卸高 ¥ 385,000 期末棚卸高 ¥ 425,000  
 ⑥ 製 品 期首棚卸高 ¥ 830,000 期末棚卸高 ¥ 917,000  
 ⑦ 製造間接費配賦額は、直接作業時間/時間につき ¥780 の予定配賦率を用いている。

- (2) 次の文の  にあてはまるもっとも適切な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

製造工程の途中で、原材料が蒸発、ガス化、粉散などの原因により消失することを  ア という。これが製造工程のどの時点で発生したかによって原価への負担が変わり、工程の終点で発生した場合は、 イ に負担させる。

1. 仕 損            2. 減            損            3. 完成品のみ            4. 完成品と月末仕掛品

- (3) 静岡工業株式会社における次の等級別総合原価計算表の(ア)に入る金額を求めなさい。ただし、等価係数は、各製品の/個あたりの重量を基準としている。

等級別総合原価計算表

令和〇年/月分

| 等級別製品 | 重量    | 等価係数 | 完成品数量   | 積数  | 等級別製造原価   | 製品単価  |
|-------|-------|------|---------|-----|-----------|-------|
| 1級製品  | 950 g | 1.0  | 2,400 個 | ( ) | ( )       | ¥ ( ) |
| 2級製品  | 760 " | 0.8  | 3,600 " | ( ) | ( )       | " ( ) |
| 3級製品  | 570 " | ( )  | 5,000 " | ( ) | ( )       | " (ア) |
|       |       |      |         |     | 4,968,000 |       |

- (4) 福岡製作所では、A製品を/個あたり ¥2,000 で販売している。この製品を3,000個製造・販売したときの全部原価計算および直接原価計算における損益計算書は下記のとおりである。よって、直接原価計算による次の金額または数量を求めなさい。ただし、月初・月末の仕掛品および製品はなかった。

- a. 損益分岐点の売上高                      b. 営業利益を2倍にするための販売数量  
c. 変動製造マージン(ア)の金額

資 料

| (全部原価計算による)    |           |
|----------------|-----------|
| 福岡製作所 損益計算書    | (単位:円)    |
| I 売上高          | 6,000,000 |
| II 売上原価        | 4,310,000 |
| 売上総利益          | 1,690,000 |
| III 販売費及び一般管理費 | 1,234,000 |
| 営業利益           | 456,000   |

| (直接原価計算による)     |           |
|-----------------|-----------|
| 福岡製作所 損益計算書     | (単位:円)    |
| I 売上高           | 6,000,000 |
| II 変動売上原価       | ( )       |
| 変動製造マージン        | (ア)       |
| III 変動販売費       | ( )       |
| 貢献利益            | 2,280,000 |
| IV 固定費          |           |
| 1. 固定製造間接費      | 1,520,000 |
| 2. 固定販売費及び一般管理費 | 304,000   |
| 営業利益            | 456,000   |

- (5) 標準原価計算を採用している大分製作所の当月における下記の資料から、次の金額を求めなさい。

- a. 完成品の標準原価                      b. 直接材料費差異                      c. 能率差異

ただし、i 直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

ii 能率差異は、変動費能率差異と固定費能率差異を合計すること。

iii 解答欄の( )のなかに不利差異の場合は(不利)、有利差異の場合は(有利)と記入すること。

資 料

- ① 標準原価カード

| A製品 標準原価カード |              |         |          |
|-------------|--------------|---------|----------|
|             | 標準消費数量       | 標準単価    | 金額       |
| 直接材料費       | 8 kg         | ¥ 700   | ¥ 5,600  |
|             | 標準直接作業時間     | 標準賃率    |          |
| 直接労務費       | 3時間          | ¥ 1,600 | ¥ 4,800  |
|             | 標準直接作業時間     | 標準配賦率   |          |
| 製造間接費       | 3時間          | ¥ 1,200 | ¥ 3,600  |
|             | 製品/個あたりの標準原価 |         | ¥ 14,000 |

- ② 生産データ

|       |        |            |
|-------|--------|------------|
| 月初仕掛品 | 400個   | (加工進捗度50%) |
| 当月投入  | 1,700個 |            |
| 合計    | 2,100個 |            |
| 月末仕掛品 | 500個   | (加工進捗度40%) |
| 完成品   | 1,600個 |            |

- ③ 実際直接材料費

|        |          |
|--------|----------|
| 実際消費数量 | 13,700kg |
| 実際単価   | ¥ 690    |

- ④ 実際直接労務費

|          |         |
|----------|---------|
| 実際直接作業時間 | 4,850時間 |
| 実際賃率     | ¥ 1,620 |

- ⑤ 製造間接費予算(公式法変動予算)

|               |             |
|---------------|-------------|
| 変動費率          | ¥ 500       |
| 固定費予算額        | ¥ 3,500,000 |
| 基準操業度(直接作業時間) | 5,000時間     |

4

個別原価計算を採用している愛知製作所の下記の資料によって、次の各問いに答えなさい。

- (1) /月/3日と28日の取引の仕訳を示しなさい。
- (2) 消費貸金勘定・製造間接費勘定・第2製造部門費勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。なお、勘定記入は日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) A製品（製造指図書#1）の原価計算表を作成しなさい。
- (4) 部門費振替表を相互配賦法によって完成しなさい。

ただし、i 前月繰越高は、次のとおりである。

|                |      |          |                        |
|----------------|------|----------|------------------------|
| 素 材            | 200個 | @ ¥2,400 | ¥ 480,000              |
| 工場消耗品          | 350" | " " 120  | ¥ 42,000               |
| 仕 掛 品（製造指図書#1） |      |          | ¥4,782,000（原価計算表に記入済み） |

- ii 素材の消費高の計算は先入先出法、工場消耗品の消費数量の計算は棚卸計算法によっている。
- iii 賃金の消費高の計算には、作業時間/時間につき ¥1,350 の予定賃率を用いている。
- iv 製造間接費は部門別計算をおこない、直接作業時間を配賦基準として予定配賦している。

|                   | 第1製造部門      | 第2製造部門      |
|-------------------|-------------|-------------|
| 年間製造間接費予定額（予算額）   | ¥12,648,000 | ¥10,500,000 |
| 年間予定直接作業時間（基準操業度） | 20,400時間    | 21,000時間    |

### 取 引

/月 8日 素材および工場消耗品を次のとおり買い入れ、代金は掛けとした。

|       |        |          |            |
|-------|--------|----------|------------|
| 素 材   | 1,800個 | @ ¥2,500 | ¥4,500,000 |
| 工場消耗品 | 1,500" | " " 120  | ¥ 180,000  |

13日 B製品（製造指図書#2）の注文を受け、素材1,400個を消費して製造を開始した。

25日 賃金を次のとおり小切手を振り出して支払った。

賃金総額 ¥4,800,000

うち、控除額 所得税 ¥510,000 健康保険料 ¥314,000

28日 A製品（製造指図書#1）60個が完成した。なお、A製品の賃金予定消費高と製造部門費予定配賦高を、次の作業時間によって計算し、原価計算表に記入した。ただし、賃金予定消費高と製造部門費予定配賦高を計上する仕訳は、月末におこなっている。

製造指図書#1 2,700時間（第1製造部門1,200時間 第2製造部門1,500時間）

31日 ① 工場消耗品の月末棚卸数量は300個であった。よって、消費高を計上した。（間接材料）

② 当月の作業時間は、次のとおりであった。よって、当月の賃金予定消費高を計上した。

|        |         | 合計      | 内訳      |         |
|--------|---------|---------|---------|---------|
|        |         |         | 第1製造部門  | 第2製造部門  |
| 直接作業時間 | 製造指図書#1 | 2,700時間 | 1,200時間 | 1,500時間 |
|        | 製造指図書#2 | 800時間   | 600時間   | 200時間   |
| 間接作業時間 |         | 400時間   |         |         |

③ 上記②の直接作業時間によって、製造部門費を予定配賦した。

④ 健康保険料の事業主負担分 ¥314,000を計上した。

⑤ 当月の製造経費消費高を計上した。

電力料 ¥386,000 保険料 ¥231,000 減価償却費 ¥293,000

⑥ 製造間接費を次のように各部門に配分した。

第1製造部門 ¥769,000 第2製造部門 ¥635,000

動力部門 ¥294,000 修繕部門 ¥252,000

⑦ 補助部門費を次の配賦基準によって、各製造部門に配賦した。

|       | 配賦基準      | 第1製造部門     | 第2製造部門     | 動力部門 | 修繕部門       |
|-------|-----------|------------|------------|------|------------|
| 動力部門費 | kW数×運転時間数 | 20kW×350時間 | 25kW×200時間 | ———  | 10kW×200時間 |
| 修繕部門費 | 修繕回数      | 4回         | 2回         | /回   | ———        |

⑧ 当月の賃金実際消費高 ¥5,304,000を計上した。

⑨ 賃金の予定消費高と実際消費高との差額を、賃率差異勘定に振り替えた。

⑩ 第1製造部門費の配賦差異を、製造部門費配賦差異勘定に振り替えた。

⑪ 第2製造部門費の配賦差異を、製造部門費配賦差異勘定に振り替えた。

第91回 簿記実務検定 1級 原価計算 [解答用紙]

|          |   |   |   |   |
|----------|---|---|---|---|
| <b>1</b> | 借 | 方 | 貸 | 方 |
|          | a |   |   |   |
|          | b |   |   |   |
|          | c |   |   |   |
|          | d |   |   |   |
|          | e |   |   |   |
|          | f |   |   |   |

|                |  |                |  |                |  |                |  |     |  |
|----------------|--|----------------|--|----------------|--|----------------|--|-----|--|
| <b>1</b><br>得点 |  | <b>2</b><br>得点 |  | <b>3</b><br>得点 |  | <b>4</b><br>得点 |  | 総得点 |  |
|----------------|--|----------------|--|----------------|--|----------------|--|-----|--|

|         |         |
|---------|---------|
| 試 験 場 校 | 受 験 番 号 |
|         |         |

2

(1)

単純総合原価計算表  
令和〇年/月分

| 摘 要        | 素 材 費 | 加 工 費 | 合 計 |
|------------|-------|-------|-----|
| 材 料 費      |       |       |     |
| 労 務 費      |       |       |     |
| 経 費        |       |       |     |
| 計          |       |       |     |
| 月初仕掛品原価    |       |       |     |
| 計          |       |       |     |
| 月末仕掛品原価    |       |       |     |
| 完 成 品 原 価  |       |       |     |
| 完 成 品 数 量  | 個     | 個     | 個   |
| 製品/個あたりの原価 | ¥     | ¥     | ¥   |

(2)

製造勘定の特許権使用料 ¥  
(アの金額)

2  
得点

**3**

(1)

|   |                              |
|---|------------------------------|
| a | 材 料 の 実 際 消 費 高 $\yen$       |
| b | 間 接 労 務 費 の 実 際 発 生 額 $\yen$ |
| c | 売 上 原 価 $\yen$               |

(2)

|   |   |
|---|---|
| ア | イ |
|   |   |

(3)

|   |        |
|---|--------|
| ア | $\yen$ |
|---|--------|

(4)

|   |  |
|---|--|
| a | 損 益 分 岐 点 の 売 上 高 $\yen$               |
| b | 営 業 利 益 を 2 倍 に<br>す る た め の 販 売 数 量 個 |
| c | 変 動 製 造 マ ー ジ ン<br>( ア ) の 金 額 $\yen$  |

(5)

|   |                          |
|---|--------------------------|
| a | 完 成 品 の 標 準 原 価 $\yen$   |
| b | 直 接 材 料 費 差 異 $\yen$ ( ) |
| c | 能 率 差 異 $\yen$ ( )       |

**3**

得点

4

(1)

|       | 借 方 | 貸 方 |
|-------|-----|-----|
| /月/3日 |     |     |
| 28日   |     |     |

(2)

| 消 費 賃 金       |  |
|---------------|--|
| 製 造 間 接 費     |  |
| 第 2 製 造 部 門 費 |  |

(3) 製造指図書 # / 原 価 計 算 表

| 直接材料費     | 直接労務費   | 製 造 間 接 費 |     |       |         | 集 計   |     |
|-----------|---------|-----------|-----|-------|---------|-------|-----|
|           |         | 部 門       | 時 間 | 配 賦 率 | 金 額     | 摘 要   | 金 額 |
| 3,600,000 | 810,000 | 第1        | 600 | 620   | 372,000 | 直接材料費 |     |
|           |         |           |     |       |         | 直接労務費 |     |
|           |         |           |     |       |         | 製造間接費 |     |
|           |         |           |     |       |         | 製造原価  |     |
|           |         |           |     |       |         | 完成品数量 | 個   |
|           |         |           |     |       |         | 製品単価  | ¥   |

(4) 部 門 費 振 替 表

相互配賦法 令和〇年/月分

| 部 門 費   | 配 賦 基 準   | 金 額       | 製 造 部 門 |         | 補 助 部 門 |         |
|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|
|         |           |           | 第1部門    | 第2部門    | 動力部門    | 修繕部門    |
| 部門費合計   |           | 1,950,000 | 769,000 | 635,000 | 294,000 | 252,000 |
| 動力部門費   | kW数×運転時間数 |           |         |         | —       |         |
| 修繕部門費   | 修繕回数      |           |         |         |         | —       |
| 第1次配賦額  |           |           |         |         |         |         |
| 動力部門費   | kW数×運転時間数 |           |         |         |         |         |
| 修繕部門費   | 修繕回数      |           |         |         |         |         |
| 第2次配賦額  |           |           |         |         |         |         |
| 製造部門費合計 |           |           |         |         |         |         |

|    |  |
|----|--|
| 4  |  |
| 得点 |  |

第91回 簿記実務検定 1級 原価計算 [ 解 答 ]

| 借 方 |  | 貸 方   |  |
|-----|--|---|--|
| a   | 賃 金 1,498,000<br>従業員賞与手当 299,000                           | 所得稅預り金 147,000<br>健康保險料預り金 64,000<br>当 座 預 金 1,586,000          |  |
| b   | A 組 製 造 2,275,000<br>B 組 製 造 1,225,000                     | 組 間 接 費 3,500,000   |  |
| c   | 売 上 原 価 9,000  | 材料消費価格差異 9,000  |  |
| d   | 第 1 工程半製品 2,670,000<br>第 2 工程製造 1,945,000<br>製 品 3,180,000 | 第 1 工程製造 2,670,000<br>第 1 工程半製品 1,945,000<br>第 2 工程製造 3,180,000 |  |
| e   | 売 掛 金 5,250,000<br>売 上 原 価 3,675,000                       | 売 上 5,250,000<br>工 場 3,675,000                                  |  |
| f   | 製 品 2,435,000<br>副 産 物 249,000                             | 製 造 2,684,000   |  |

2

(1)

単純総合原価計算表  
令和〇年/月分

| 摘 要        | 素 材 費     | 加 工 費     | 合 計        |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 材 料 費      | 6,478,000 | 684,000   | 7,162,000  |
| 労 務 費      | —         | 3,600,000 | 3,600,000  |
| 経 費        | —         | 552,000   | 552,000    |
| 計          | 6,478,000 | 4,836,000 | 11,314,000 |
| 月初仕掛品原価    | 1,502,000 | 410,000   | 1,912,000  |
| 計          | 7,980,000 | 5,246,000 | 13,226,000 |
| 月末仕掛品原価    | 1,260,000 | 366,000   | 1,626,000  |
| 完 成 品 原 価  | 6,720,000 | 4,880,000 | 11,600,000 |
| 完 成 品 数 量  | 4,000個    | 4,000個    | 4,000個     |
| 製品/個あたりの原価 | ¥ 1,680   | ¥ 1,220   | ¥ 2,900    |

(2)

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 製造勘定の特許権使用料<br>(アの金額) | ¥ 186,000 |
|-----------------------|-----------|

3

|     |   |             |   |            |
|-----|---|-------------|---|------------|
| (1) | a | 材料の実際消費高    | ¥ | 4,097,000  |
|     | b | 間接労務費の実際発生額 | ¥ | 2,260,000  |
|     | c | 売上原価        | ¥ | 10,706,000 |

|     |   |   |
|-----|---|---|
| (2) | ア | イ |
|     | 2 | 3 |

|     |   |   |     |
|-----|---|---|-----|
| (3) | ア | ¥ | 360 |
|-----|---|---|-----|

|     |   |                   |   |           |
|-----|---|-------------------|---|-----------|
| (4) | a | 損益分岐点の売上高         | ¥ | 4,800,000 |
|     | b | 営業利益を2倍にするための販売数量 |   | 3,600 個   |
|     | c | 変動製造マージン(ア)の金額    | ¥ | 3,210,000 |

|     |   |          |   |             |
|-----|---|----------|---|-------------|
| (5) | a | 完成品の標準原価 | ¥ | 22,400,000  |
|     | b | 直接材料費差異  | ¥ | 67,000 (有利) |
|     | c | 能率差異     | ¥ | 60,000 (不利) |

4

|     |       |    |           |    |           |
|-----|-------|----|-----------|----|-----------|
| (1) |       | 借方 |           | 貸方 |           |
|     | /月/3日 | 製造 | 3,480,000 | 素材 | 3,480,000 |
|     | 28日   | 製品 | 9,921,000 | 製造 | 9,921,000 |

|     |      |    |           |      |    |           |           |
|-----|------|----|-----------|------|----|-----------|-----------|
| (2) | 消費貸金 |    |           |      |    |           |           |
|     | 1/31 | 貸金 | 5,304,000 | 1/31 | 諸口 | 5,265,000 |           |
|     |      |    |           |      | 〃  | 貸率差異      | 39,000    |
|     |      |    | 5,304,000 |      |    |           | 5,304,000 |

|       |       |           |         |    |           |
|-------|-------|-----------|---------|----|-----------|
| 製造間接費 |       |           |         |    |           |
| 1/31  | 工場消耗品 | 186,000   | 1/31    | 諸口 | 1,950,000 |
|       | 〃     | 消費貸金      | 540,000 |    |           |
|       | 〃     | 健康保険料     | 314,000 |    |           |
|       | 〃     | 諸口        | 910,000 |    |           |
|       |       | 1,950,000 |         |    | 1,950,000 |

|         |       |           |         |    |         |
|---------|-------|-----------|---------|----|---------|
| 第2製造部門費 |       |           |         |    |         |
| 1/31    | 製造間接費 | 635,000   | 1/31    | 製造 | 850,000 |
|         | 〃     | 諸口        | 206,000 |    |         |
|         | 〃     | 製造部門費配賦差異 | 9,000   |    |         |
|         |       | 850,000   |         |    | 850,000 |

|     |           |           |       |       |     |           |           |
|-----|-----------|-----------|-------|-------|-----|-----------|-----------|
| (3) | 製造指図書# /  | 原価計算表     |       |       |     |           |           |
|     | 直接材料費     | 直接労務費     | 製造間接費 |       |     | 集計        |           |
|     |           |           | 部門    | 時間    | 配賦率 | 金額        | 摘要        |
|     | 3,600,000 | 810,000   | 第1    | 600   | 620 | 372,000   | 直接材料費     |
|     |           | 3,645,000 | 第1    | 1,200 | 620 | 744,000   | 直接労務費     |
|     |           | 4,455,000 | 第2    | 1,500 | 500 | 750,000   | 製造間接費     |
|     |           |           |       |       |     | 1,866,000 | 製造原価      |
|     |           |           |       |       |     |           | 完成品数量     |
|     |           |           |       |       |     |           | 60個       |
|     |           |           |       |       |     |           | 製品単価      |
|     |           |           |       |       |     |           | ¥ 165,350 |

|     |               |           |           |           |         |         |         |
|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
| (4) | 部門費振替表        |           |           |           |         |         |         |
|     | 相互配賦法 令和〇年/月分 |           |           |           |         |         |         |
|     | 部門費           | 配賦基準      | 金額        | 製造部門      |         | 補助部門    |         |
|     |               |           |           | 第1部門      | 第2部門    | 動力部門    | 修繕部門    |
|     | 部門費合計         |           | 1,950,000 | 769,000   | 635,000 | 294,000 | 252,000 |
|     | 動力部門費         | kW数×運転時間数 | 294,000   | 147,000   | 105,000 | —       | 42,000  |
|     | 修繕部門費         | 修繕回数      | 252,000   | 144,000   | 72,000  | 36,000  | —       |
|     | 第1次配賦額        |           | 546,000   | 291,000   | 177,000 | 36,000  | 42,000  |
|     | 動力部門費         | kW数×運転時間数 | 36,000    | 21,000    | 15,000  |         |         |
|     | 修繕部門費         | 修繕回数      | 42,000    | 28,000    | 14,000  |         |         |
|     | 第2次配賦額        |           | 78,000    | 49,000    | 29,000  |         |         |
|     | 製造部門費合計       |           | 1,950,000 | 1,109,000 | 841,000 |         |         |